



# 島村俊一 新市長が初登庁

徹底して財政を見直し  
安全・安心なまちをつくりたい

瀬戸内市の市政の舵を取る瀬戸内市長選挙が11月16日、市内16投票所で行われました。開票の結果、島村俊一さんが当選し、新市長に就任しました。

12月5日、瀬戸内市役所本庁舎に初登庁した島村市長は、大勢の市職員に拍手で迎えられ、職員代表から歓迎の花束を受け取りました。

その後、就任式では、「市長選では、行財政改革を前面に訴え、市民の支援を受けました。痛みを感じることもあるかもしれないが、協力してほしい」とあいさつし、新市長としての決意を語りました。

## 開票結果 (届出順・敬称略)

| 候補者氏名 | 得票数     |
|-------|---------|
| 立岡 脩二 | 7,986   |
| 島村 俊一 | 当10,908 |

しまむら しゅんいち  
島村 俊一 市長  
(68歳・長船町磯上)  
平成9年3月~16年  
10月長船町監査委員、  
平成16年12月~平成  
20年9月瀬戸内市代表  
監査委員を務めた

## 住んで良かった瀬戸内市をつくらう

瀬戸内市長 島村俊一

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

12月5日に市長に就任し、約1カ月が経過しましたが、あらためてその重責に身の引き締まる思いでいます。就任直後から市議会があり、その対応に追われるなど、慌ただしい日を送っていました。

さて、新年を迎えるにあたり、わたしは市民の皆さんへお願いしたいことがあります。市民の皆さんもご承知のように、地方自治は大変革しなければならぬ時期にきているようです。地方分権をはじめ介護、医療など福祉の問題や少子高齢化社会に伴う制度の改変など、社会環境が大

きく変動する中、地方自治体の役割は、急速に複雑多様化してきています。

その上、国をはじめとして地方自治体の大部分が、財政困難な状況にあります。本市においても財政状況は、市民の皆さんもご存知のとおり、多額の市債残高を抱えています。

こういう現状の中、地方自治の役割は、市民の安全・安心を確保する環境をつくり、市民の暮らしを守り、市民一人一人の幸せを実現することです。そのためには、市民の皆さんの知恵をお借りしたいのです。

市長以下市役所の職員や市

民が一体となって知恵を出し英知を結集し、協働で住んで良かった瀬戸内市をつくって

良かっただ瀬戸内市をつくって、みませんか。行政と市民が見事に協働すれば、合併して4年を経過しても旧3町が一体化したとはいえない現状を、打破することができるとは、ないでしょうか。旧3町の一体化が醸成可能であると、わたしは確信しています。

地方分権が叫ばれている今、地方が自分で責任を持ち、地方で自分の意思、すなわち政策を決定していく時代です。市役所(行政)を核に、市民が協働すれば、素晴らしい政策決定ができるのではないのでしょうか。こうして元気のよ

い、明るい安全・安心で、住んで良かった瀬戸内市ができれば幸いです。

そのためには、市民の皆さんが積極的に行政(政治)に参加してくださることが、わたしの夢です。わたしが目標とする行財政改革も、市民の皆さんの協力と理解がなければ、実現不可能です。

新しい年である平成21年は、行政と市民の協働元年と位置づけたいと思います。市民の皆さんへの年頭の所感としては、いささか不似合いかもしれませんが、皆さんどうぞよろしくお祈りします。